

## 質的評価 細胞診判定

### 細胞診標本の質的評価・検査結果

#### 質的評価

検体（標本）が検査に十分か否かの質的条件が正確な結果を得るための鍵となります。従って、標本の質的評価を『適正』・『不十分』・『不適正』と評価します。

質的評価	評価内容
適正	・採取部位の標的細胞（細胞の種類）が、診断可能な数だけ適切に採取されていること。
	・細胞形態がよく保存されていること。
	・標本作製（塗抹、固定）が良好であること。
	・必要な臨床情報が添えられていること。
不十分	・細胞判定には十分でない状態の場合、条件つきで判定を行います。状態を明記してご報告しますので結果の取扱いには注意をお願いします。
不適正	・判定を保留（判定不能）とし、その事由をご報告します。

#### 検査結果

##### 婦人科頸部

日本産婦人科医会 改定『ベセスダシステム2014に準拠した子宮頸部細胞診報告様式』  
(通称：ベセスダシステム または 医会分類)

子宮頸部細胞診結果	略語	推定される病理診断	従来のクラス (日母分類)	英語表記	運用
陰性	NILM	非腫瘍性所見、炎症	I、II	Negative for intraepithelial lesion or malignancy	《異常なし》 定期検査
意義不明な異型扁平上皮細胞	ASC-US	軽度扁平上皮内病変疑い	II-III a	Atypical squamous cells of undetermined significance (ASC-US)	《要精密検査》 ①HPV検査による判定が望ましい 陰性：1年後に細胞診、HPV併用検査 陽性：コルポ、生検 ②HPV検査非施行：6か月以内に細胞診検査
HSILを除外できない異型扁平上皮	ASC-H	高度扁平上皮内病変疑い	III a-III b	Atypical squamous cells cannot exclude HSIL (ASC-H)	《要精密検査》 コルポ、生検
軽度扁平上皮内病変	LSIL	HPV感染 軽度異形成	III a	Low grade squamous intraepithelial lesion	
高度扁平上皮内病変	HSIL	中等度異形成	III a	High grade squamous intraepithelial lesion	
		高度異形成 上皮内癌	III b IV		
扁平上皮癌	SCC	扁平上皮癌	V	Squamous cell carcinoma	
異型腺細胞	AGC	腺異形成または腺癌疑い	III	Atypical glandular cells	《要精密検査》 コルポ、生検、頸管および 内膜細胞診または組織診
上皮内腺癌	AIS	上皮内腺癌	IV	AIS	
腺癌	Adenocarcinoma	腺癌	V	Adenocarcinoma	
その他の悪性腫瘍	Other	その他の悪性腫瘍	V	Other malignant neoplasms	《要精密検査》 病変検索

#### 婦人科体部及び一般検体（喀痰、尿、胸腹水、その他）

判定区分	
陰性 (Negative)	Absence of atypical or abnormal cells.
	Atypical cytology but no evidence of malignancy.
疑陽性 (Suspicious)	Cytology suggestive of but no conclusive for malignancy.
	Probably benign atypia. (Mild or moderate dysplasia)
	Malignancy suspected. (severe dysplasia)
陽性 (Positive)	Cytology strongly suggestive of malignancy.
	Cytology conclusive for malignancy.

#### (喀痰集団検診における喀痰細胞診の判定基準と指導区分)

##### 判定区分細胞所見 (ABCDE判定)

判定区分	細胞所見
A	喀痰中に組織球をみとめない。
B	正常上皮細胞のみ。
	基底細胞増生
	細胞異型軽度の扁平上皮化細胞
	絨毛円柱上皮増生
C	細胞異型中等度の扁平上皮細胞または核の増大や濃染を伴う円柱上皮増生。
D	細胞異型高度の扁平上皮細胞または悪性腫瘍の疑いのある細胞を認める。
E	悪性腫瘍細胞を認める。